



しょうじゅうどう 鍾乳洞はどうしてできるの

せっかいがん ちそう なか 石灰岩の地層の中にできるどうくつ

せっかいがん は、おもに たんさん 炭酸カルシウムからできています。この たんさん 炭酸カルシウムは にさんかたんそ 二酸化炭素をとかしている みず 水によって、と か さ れ る せいしつ 性質があります。

にさんかたんそ 二酸化炭素を ふく こん で い る あまみず ちかすい 雨水や地下水が、この せっかいがん ちそう 石灰岩の地層にしみこんでいき、ながい 長い時間をかけ せっかいがん 石灰岩をとかし、あとに、おお 大きな どうくつ が できます。これが、しょうじゅうどう 鍾乳洞です。

にほん 日本のあちらこちらに

やまぐちけん あきよしだい 秋吉台にある あきよしどう 秋芳洞、いわてけん りゅうせんどう 龍泉洞、こうちけん りゅうがどう 龍河洞、おきなわけん ぎょくせんどう 玉泉洞など ゆうめい 有名な しょうじゅうどう 鍾乳洞が、かくち 各地にあります。(監修 国司 真)

● 鍾乳洞のしくみ

